

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月24日

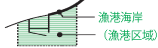
計画の名称	相模湾沿岸における高潮・侵食対策の推進（防災・安全）【重点】												
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神奈川県												
計画の目標	高潮（越波、浸水）等への対策、砂浜の侵食（護岸崩壊、越波）対策として、海岸保全施設の整備や養浜を実施し、人命・財産を防護する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	190	A	190	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値	最終目標値 R3末
1	・対象施設の長寿命化計画策定時の点検診断結果に対し、適切な補修を行い、A及びB判定を解消する。 ・対象施設の長寿命化計画策定時の点検診断結果に対し、適切な補修を行い、A及びB判定を解消する。	0%	%	25%

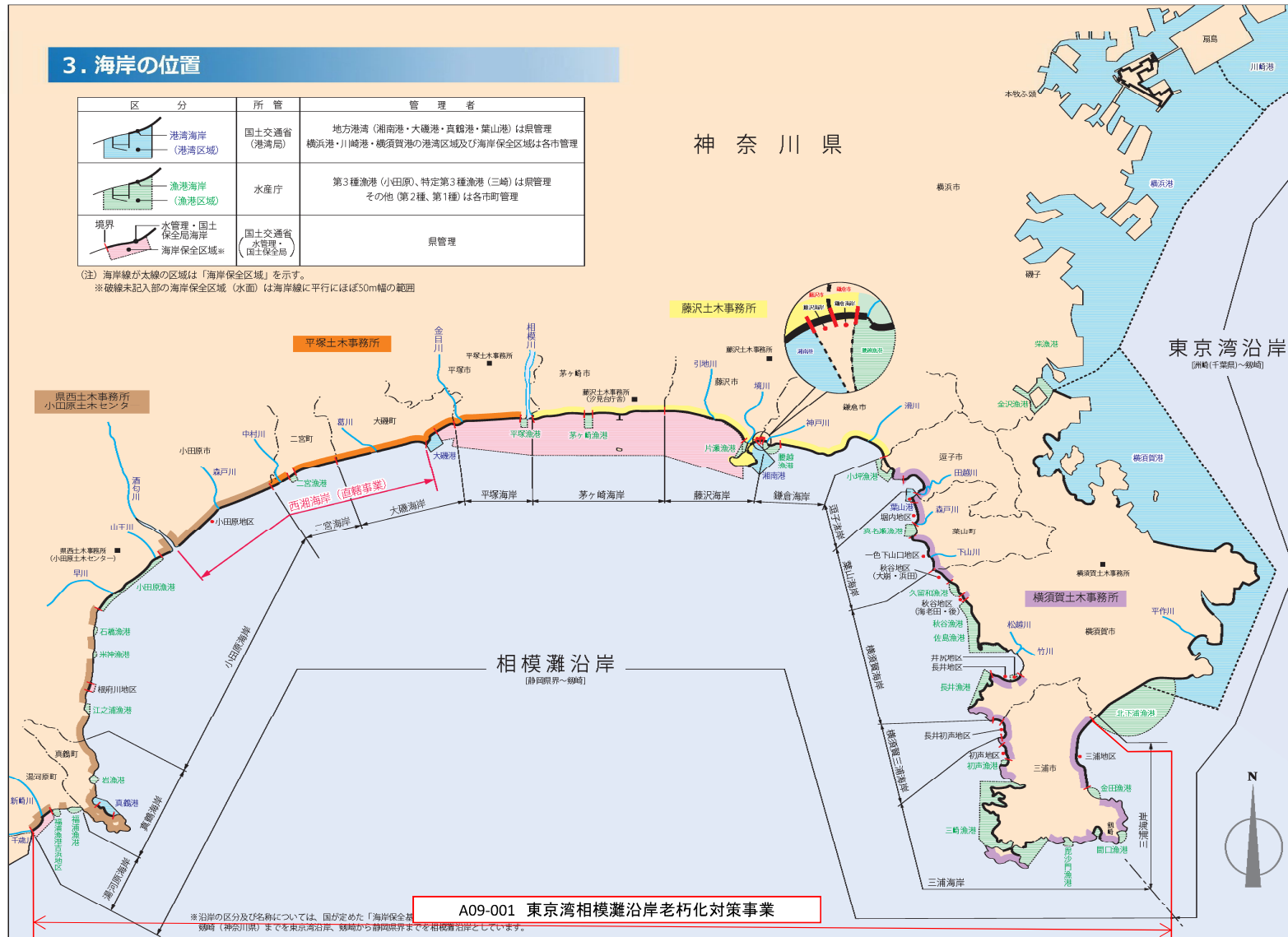
備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	—	—	東京湾相模灘沿岸老朽化 対策事業	護岸改良工	東京湾相模灘沿 岸	■	■				190		策定済	
												小計						190		
											合計						190			

### 3. 海岸の位置

区分	所管	管理者
 港湾海岸 (港湾区域)	国土交通省 (港湾局)	地方港湾(湘南港・大磯港・真鶴港・葉山港)は県管理 横浜港・川崎港・磯須賀港の港湾区域及び海岸保全区域は各市管理
 漁港海岸 (漁港区域)	水産庁	第3種漁港(小田原・特定第3種漁港(三崎)は県管理 その他(第2種・第1種)は各市町管理
 境界 水管理・国土 保全局海岸 海岸保全区域※	国土交通省 水管理 (国土保全局)	県管理

(注) 海岸線が太線の区域は「海岸保全区域」を示す。  
 ※破線未記入部の海岸保全区域(水面)は海岸線に平行にほぼ50m幅の範囲



A09-001 東京湾相模灘沿岸老朽化対策事業

※沿岸の区分及び名称については、国が定めた「海岸保全法」に基づき、相模灘(神奈川県)までを東京湾沿岸、相模灘から静岡県界までを相模灘沿岸としています。

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	95				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	95				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	4				
翌年度繰越額 (f)	91				
うち未契約繰越額(g)	86				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	90.52				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との調整に不測の日数を要したため				

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 相模湾沿岸における高潮・侵食対策の推進（防災・安全）【重点】

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性（計画の目標が港湾の整備計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 ○課題を踏まえた目標を設定し、課題への対応方針が妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 ○事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性	
①地元の機運 1) 多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①地元の機運 2) 地元や地元市町との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
②円滑な事業執行の環境 1) 住民等の合意形成が整っている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②円滑な事業執行の環境 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○